埼玉版スーパー・シティプロジェクトエントリーシート

川口市

川口駅周辺地域

や蓄電池等の導入

川口市版スーパー・シティプロジェクト ~川口駅周辺まちづくりビジョンの実現に向けたまちづくり~

村豆

川口駅周辺における、まちのポテンシャルの活用、社会情勢の変化及び現状の課題への対応の観点から、令和4年3月に「川口駅周辺まちづくりビジョン」を策定している。ビジョンに掲げている取組を中心に進めることにより、川口駅周辺が住みやすいまちを超えて、「住み続けたいまち」・「さらなる選ばれるまち」となることを目指す。

誀

・駅周辺における、各拠点間の回遊性の不足

- ・多様な「働き方」や「暮らし方」を支える、都市機能の不足
- ・駅周辺利用者のニーズを的確にまちづくりに反映させるためのデジタル技術の活用
- ・災害対応の迅速化や頻発化・激甚化する災害に対応するため、ハード・ソフト両面での防災力の確保

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の 協力を得たい分野・内容
ニンバクト	る、まちづくりの推進	中期 (5年)	・駅周辺の集客拠点の整備(文化・芸術施設、商業・業務施設等) ・駅周辺における、コワーキングスペースやシェアオフィスの設置 ・駅や各拠点が有機的に繋がったウォーカブルなまちの実現・持続的な街の賑わい創出や、安心に暮らせる街の実現に向けた、エリアマネジメント体制の構築・中距離電車の停車や駅前広場の機能向上などによる交通ネットワーク強化	・民有地におけるウォーカブルな取組 への協力 ・エリアマネジメント体制への参画 ・コワーキングスペースやシェアオフィ スの設置への協力
スマート	デジタル技術を活用した、効率的な まちづくりの推進	中期 (5年)	・人流データの集計により、移動特性やニーズを的確に把握し、最適な施設配置や空間形成、交通施策などを実現・集計した人流データのオープンデータ化による、利便性の高いサービスの提供や、民間企業の出店誘導・事業の合意形成や防災性向上へのVR・3D都市モデルの活用・生活利便性向上に資するアプリの充実	・オープンデータの提供による、スマートな取組への協力・人流データの活用事例とその効果・VR・3D都市モデルの活用
レジリエント	: 川口駅周辺に相応しい防災力の確 : 保	中期 (5年)	・帰宅困難者受け入れスペースの確保・整備 ・自律分散型エネルギーの導入による、災害時でも途絶えない電源の確保 ・地区内外の人々が災害時に必要とする物資を備蓄するスペースの確保・整備 ・水害の際に垂直避難が可能な場所の確保	・災害時における帰宅困難者用の一時 滞在施設の整備 ・一時滞在施設へのV2L(外部給電 器)の導入 ・一時滞在施設への太陽光発電

・情報通信技術等を活用した防災性の向上

川口市版スーパー・シティプロジェクト取組概要

